

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	予防業務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	1	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	予防課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	相川 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	火災予防について、市民の意識高揚を図るため、啓発方法などの検討は継続的に行う必要がある	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	住宅用火災警報器普及調査の未実施及び未設置住宅を中心に継続的に調査を実施するとともに、維持管理周知の広報を実施する
②①に基づく取り組み結果	住宅用火災警報器の未実施地区の普及調査と併せ、設置済住宅にあっては維持管理周知を実施した		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・防火対象物及び危険物施設等の事業所	意図(対象をどうするのか)	①市民の防火意識の高揚 ②事業所の防火安全対策の向上
②事務事業の概要	火災予防を推進するため、住宅用火災警報器の設置普及、建築確認消防同意並びに危険物規制に係る審査指導、立入検査及び消防訓練を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	住宅用火災警報器の普及率は、継続的に調査を実施した結果、普及率は年々上昇している一方で、設置済住宅火災警報器の誤報や未作動などが発生し維持管理の周知が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	住宅火災警報器の普及率が65.0%となり、昨年度より2.8ポイント上昇した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	火災予防ポスター掲示	60	55	53	枚	業務取得
	ii	消防同意数	96	117	115	件	業務取得
	iii	住宅用火災警報器普及率	61.3	62.2	65	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	648	1,363	金額(千円)	内容	2,585		
国支出金(千円)			246	子供用救助服及び防火衣購入			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	648	1,363			2,585		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	住宅用火災警報器普及調査と併せ、未設置住宅への設置推進及び設置済住宅への維持管理周知が課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	住宅用火災警報器の未実施地区の普及調査と併せ、設置済住宅にあっては維持管理周知を実施したため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				